

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0 1 7 2 9 0 0 8 2 1		
法人名	特定非営利活動法人 広輪会		
事業所名	高齢者グループホーム はる		
所在地	北海道旭川市忠和 6 条 5 丁目 1 番 2 1 号 (電 話) 0166-63-5766		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東 1 条 3 丁目 1 - 6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年10月14日	評価確定日	平成21年11月9日

【情報提供票より】(平成21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 14 年 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	27 人	常勤 13人, 非常勤 14人, 常勤換算	11.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	9,000 ~ 13,500 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) <u>無</u>	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	7 名	要介護 2	3 名
要介護 3	5 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	
年齢	平均 82.3 歳	最低 66 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック・尾崎内科小児科医院・品川歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

NPO法人が運営する2ユニットのグループホームで、大学の寮を改装した2階建ての建物になっており、職員は利用者との会話の時間を多く作る事を心掛け、本人の今の希望や気持ちに寄り添うように努めており、利用者の日頃のアクティビティとして大正琴やピアノを練習して三か月ごとの定期演奏会で家族や地域の方々に披露し喜ばれています。社会貢献の一環としてトライアル雇用を積極的に受け入れる取り組みが行われ、職員の採用の考え方として、経験の無い方でもホームで知識と技術を学んで貰えるように取り組んでいます。また、外出機会を多く作り、職員と共に美瑛の丘や冬まつり、上富良野日の出公園など日常的に戸外に多く出かけるように支援しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、地域の方々の協力を得た避難訓練の実施についてでしたが、普段の散歩や買い物、地域行事への参加、運営推進会議で地域との関係性を深め取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、普段のケアを振り返る機会と捉え、職員間で話し合わせ管理者がまとめて作成しています。外部評価の結果については、職員で話し合い具体的な改善に取り組んでいます。また、外部評価の結果を運営推進会議で報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議については、ほぼ二ヶ月毎に開催しています。委員は、利用者、家族、民生委員、看護師、法人理事長及び管理者・職員で構成され、色々な事例報告を通じて意見交換やホーム機能を理解してもらう取り組みを行い、ホームの運営や地域との交流を図る取り組みに活かしています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	定期的に一人ひとりの名前前で新聞を発行し、生活の様子やホーム行事参加の様子を写真を交えて分かり易い文章で家族に伝えており喜ばれています。健康状態の変化時には都度電話で詳細に報告し、来訪時には意見や苦情・相談ができる雰囲気作りを心掛け、家族会や運営推進会議の際に自己評価・外部評価の結果を家族に報告して意見を聞く機会を作っています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣への散歩や近くのスーパーでの買い物など日常生活を通じて地域との連携が行われ、地区センターでフラダンスや和太鼓と盆踊りの集いが催され地域の方々との交流を図っています。また、町内会役員を引き受け新年会や地域行事への参加、地域の親睦団体との交流など地元の人々との交流に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。また、ホームの行事や日頃の散歩での挨拶を通じて交流を図り地域との関係を大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。また、会議の際にも理念を職員全員で再確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣への散歩や近くのスーパーでの挨拶など日常生活を通じて地域との連携が行われ、地区センターでフラダンスや和太鼓と盆踊りの集いが催され、地域の方々との交流を図っている。また、町内会役員を引き受け新年会や地域行事への参加、地域の親睦団体や地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、普段のケアを振り返る機会と捉え、職員間で話し合わせ管理者がまとめて作成している。外部評価の結果については、職員で話し合い具体的な改善に取り組んでいる。また、外部評価の結果を、運営推進会議で報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員は、利用者、家族、民生委員、看護師、法人理事長及び管理者・職員で構成され、ほぼ二ヶ月毎に開催している。色々な事例報告を通じて意見交換やホームを理解してもらう取り組みを行い、ホームの運営や地域との交流、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護受給者について市の保護課職員と連携して行き来する機会を設け、意見交換や相談し合える関係性を築いており、包括支援センター主催の研修会参加や情報を共有して、ケアサービスの質の向上に共に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に一人ひとりの名前で新聞を発行し、日常生活の具体的な様子やホーム行事に参加している様子を写真を交えて分かり易い文章で家族に伝えている。また、健康状態の変化時には都度電話で詳細に報告され対応されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時には意見や苦情・相談ができる雰囲気作りを心掛け、家族会を設け、意見や苦情を率直に言って貰えるように取り組んでおり、それらを運営に反映させている。運営推進会議の際も自己評価・外部評価の結果を家族に報告して意見を聞く機会を作っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が長期間に渡って勤められるように管理者は相談事や悩みを極力聞くように心掛けている。また、定期的にユニット間で1名交換して職員全員が利用者全員と馴染みの関係を築けるように努めており、やむなく離職する場合でも他の職員が対応できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、札幌で行われるスタッフレベルアップ研修会には2名ずつ参加させ職員のスキルを上げるように努めており、地域のケアマネ会議で情報交換やグループホーム協議会などの外部の研修参加を積極的に取り組んでいる。また、全体会議やフロアー会議などの職場内研修が実施されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、地域包括支援センターでのケアマネジャーの研修会で他のホームの職員と情報交換を行い交流を深めている。また、特別養護老人ホームなどの他施設との相互訪問や行事参加で交流が図られている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、場の雰囲気に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の生活や行事の中で一人ひとりの習慣や生活歴を踏まえ、利用者から教えて貰いながら取り組んでいる。また、炊作業や食事の準備や後片付けなど一緒に行いながら本人と共に支えあう関係を構築している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で本人の希望や意向を尊重し、ホームでどのように生活したいかを把握し、買い物や散歩、食器洗いや洗濯ものたたみ等が行われている。また、夜の晩酌や畑作業など利用前の習慣も大事にして支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、3ヶ月毎に計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院、往診などの支援が柔軟に行われている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師が在籍し、日常的に健康管理が行われている。また、協力医療機関の看護師長や医師の往診で気軽に相談できる医師が確保され医療機関とも緊密にしている。また、状態が変化した場合についても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、在籍している看護師と連携して利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。また、状態の変化に応じて随時家族・医師と話し合う機会を設けるようにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われている。また、記録等の個人情報の扱いについては、十分に配慮した取り組みを行っている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、買い物や散歩、食事の準備・後片付けなど本人の希望やペースに沿った支援をしている。また、常盤公園での花見や美瑛の丘めぐり、上富良野日の出公園へのドライブなどの外出支援が行われている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒になって食材の買い出しや調理、食事の準備をしている。利用者の誕生日には本人の好みの物や食べたい物を提供している。また、回転寿司やラーメン屋、レストラン等の外食の機会を作り食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援されている。また、お風呂好きな方などは週4回入浴を楽しんでいる方もいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴がセンター方式で把握されており、役割を持ちたいという気持ちを尊重して、調理の下ごしらえや畑作りなど「本人ができること」への生活の支援がされている。また、定期演奏会に向けて、大正琴やピアノの練習が楽しみ事になっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や食材の買い出し、法人所有のバスでのドライブなど戸外に出かけられるように支援されている。また、回転寿司やラーメン屋、レストラン等の外食の支援も行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出傾向のある利用者には、家族と相談しながら安全に配慮した取り組みが行われている。また、必要に応じて施錠をする際は、家族に十分に説明し理解を得て行われており、施錠を慢性化する事なく取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	防火管理者が配置され、緊急連絡網、緊急対応マニュアルを作成しており、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように年2回火災避難訓練が実施されている。また、在籍している看護師による救急救命の訓練が内部研修で実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量、水分摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについては、おおよそ把握されている。また、一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂などの共有空間は、広く、ゆったりとしており、ソファや所々に椅子を置き、気軽にリラックスできるよう配置され、利用者にとって不快な音や光がないように配慮している。廊下には習字などの入選作品や季節感のあるディスプレイ、行事の写真が飾られ、利用者の身体機能の低下に対応していくためにエレベーターも設置されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や鏡台、箆笥、椅子など使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる空間となっており、一人ひとりの思いが伝わり、居心地よく過ごせるような居室になっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。